

(公財) コープともしびボランティア振興財団

2019 年度事業ならびに決算報告

【 2019 年度事業報告】

1. 2019 年度から 5 年間の財団の指針となる「第 3 次中期計画」の 1 年目として、若い人のボランティア活動を応援し、人材育成を目的とした高校生のボランティア顕彰（アワード）に取り組みました。
2. 支え合う地域づくりをめざし、多様な活動に取り組む 163 グループに対し、総額 874 万円のボランティア活動助成を行いました。
3. 社会的課題解決にチャレンジする団体を賛同企業とともに応援する「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」は、18 社から寄付を得て、6 グループに対し総額 217 万 5 千円の助成を行いました。また同プロジェクトの賛同企業である UCC 上島珈琲（株）、フジッコ（株）とコラボイベントや学習会を開催しました。
4. 神戸市須磨区をモデル地域として、須磨区社協、コープこうべ第 3 地区本部とともに区内で活動するボランティア交流会を初めて開催。63 名が参加し地域で活動するボランティア同士、活発に交流、今後の活動の連携のきっかけとなりました。

I. 地域や暮らしにかかわる課題を把握し、その解決を目指す活動・人・ネットワークを支援

1. ボランティア活動助成

(1) 2019 年度助成の分野別実績

	分野	対象者	件数	助成額(円)	助成構成比(%)
①	福祉	高齢者	44	1,342,000	15.4
		障がい者	18	889,000	10.2
		地域住民	9	405,000	4.6
		在日外国人	2	271,000	3.1
		施設・病院	2	72,000	0.8
		その他(がん患者)	2	110,000	1.2
		合計	77	3,089,000	35.3
②	まちづくり		10	851,000	9.7
③	文化・芸術		3	84,000	1.0
④	地域安全		1	99,000	1.1
⑤	国際協力		3	258,000	3.0
⑥	子ども育成		47	2,672,000	30.6
⑦	環境の保全		21	1,645,000	18.8
⑧	その他(フードバンク)		1	42,000	0.5
合計			163	8,740,000	100.0

(2) 「市民活動交流会 2019」を開催

2019年5月16日に、財団から「ボランティア活動助成」を受けるグループが一堂に会する「市民活動交流会 2019」をコープこうべ生活文化センターで開催しました。交流会の冒頭に「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」の賛同企業の紹介と感謝状の贈呈を行いました。また、2018年度の助成グループだった「子育て園 ぽかぽか」が活動報告を行いました。

その後の交流タイムの企画・運営は昨年同様、助成団体の代表者数名による実行委員会が担当しました。

交流タイムはグループワークのファシリテートを松尾やよいさんが担当。各グループの活動の紹介とともに、今回は「グループ同士の連携」をテーマに活発に情報交換が行われました。この会を通し顔の見える関係ができ、互いのグループを訪問したり、一緒にできる活動を考えるなど、その後の連携のきっかけになっています。

(3) スタッフがグループ訪問し、地域課題を共有

2019年度助成対象となったグループをスタッフが訪問し、グループがとらえている地域の課題や、活動の現状についてヒアリングを行いました。

1年間で、29グループを訪問し、その内容についてはチーム会で共有化を図り、テーマによっては運営委員会でも論議し、支援のしくみや申請用紙の項目変更などについて検討しています。

(4) 個別相談を実施

助成グループの中には、申請用紙の書き方や、助成後の会計も含めた活動報告の書き方に不安をもつ団体もあります。そこで、9か所の説明会では、「よくある質問」を冊子にして配布したり、説明会后にスタッフが残って個別に相談をうける時間を設けています。また、2月には希望するグループに報告用紙の書き方についての相談会を個別で実施しました。

2. 社会人の学びと研究助成

(1) 助成対象者による報告会を実施

この助成制度は、「ボランティア活動を担う人を育てる助成」として2006年度にスタートし、これまでに、36人の学びを支援しています。2019年7月13日に、2018年度の助成対象者である末永美紀子さん（放送大学大学院文化科学研究科生活科学プログラム専攻）に研究の成果を報告いただきました。

当日は、保育関係者など32名が参加し、保育リスクマネジメントと、小規模保育事業での取り組みについて末永さんへの質疑や、意見交換を行いました。

なお、第3次中期計画の中で、高校生のボランティア顕彰など新たな分野の開発に取り組むため、2019年度はこの助成の募集は休止しました。

3. 「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」

(1) 第3回「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト助成」

(上限 50 万円/団体、予算総額 232 万円)

社会的課題を新しい手法で解決しようとする意欲あふれる市民団体を、賛同企業と力を合わせて応援しようと、2016 年度に「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」を立ち上げました。この助成では財団としては初めて、「NPO など法人格のある団体も応募可能」とし、対象団体の幅をひろげています。

第 3 回目となる今年度は 40 団体が応募し（昨年度は 19 団体が応募）、書類選考を通過した 10 団体が 7 月 2 日の公開選考会に進みました。当日は約 60 名が参加する中、各団体のプレゼンテーションを賛同企業の代表者とともに選考し、下記 6 団体に合計 217 万 5 千円の助成と残金 14 万 5 千円の次年度への繰越を決定しました。

グループ名/プロジェクト名	プロジェクト内容
認定特定非営利活動法人 認知症予防ネット神戸 (50 万円) プロジェクト名 / 認知症予防と支え合いのまちづくり	地域住民と医療センターや専門職が一緒になって、地域の中で認知症予防に取り組む。高齢者が尊厳を保ち安心して暮らし続けられるまちづくりに寄与する。
特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台 (35.5 万円) プロジェクト名/ 高齢者の生活支援とサポート事業	高齢化によって、生活支援機能の低下が課題となっている多聞台団地において、会員同士の支え合いを目的とした有償の生活支援事業を行う。
特定非営利活動法人 阪神つばめ学習会 (25 万円) プロジェクト名/ 子どもへの学習支援事業	経済的に貧しい家庭の子どもたちのための学習会を無料で行う。対象のメインは中学生。講師 1 名に対し、生徒 2 名～4 名の少人数で個別指導を行う。
特定非営利活動法人 兵庫県若者らの自立を考える連絡会 (37 万円) プロジェクト名/ 障がい者と地域の人との共生	障がい者、ひきこもりの人などが、農作業を通して元気になることを願い、居場所づくりを行っている。
こうべにここにこ会 (20 万円) プロジェクト名/ 外国につながる子どもたちを支える 夏休み自由研究教室の開催	外国につながる子どもたちにとって、夏休みの自由研究は難しい。子どもたちがやってみたいこと、一人で取り組むのは難しい課題と一緒に取り組む。
特定非営利活動法人 ユウノトリ豊岡・いのちのネットワーク (50 万円) プロジェクト名/ 不登校・ひきこもりの相談支援活動	当事者、家族からの相談や、家庭訪問を通して、個々に寄り添う活動。団体が運営する子ども食堂のスタッフとしてのかかわりを促し就労の第一歩ともしている。

(2) 賛同企業の拡大

2016年度に地元企業7社のご賛同により、プロジェクトを立ち上げ、2017年度から地元企業という枠を外して賛同企業を募集しました。2017年度に6社、2018年度には5社、2019年度は3社が新たに加わり、賛同企業は21社となりました。

4. ひと育て、学びの場の充実

(1) 第1回「高校生ともしびボランティアアワード」を実施

第3次中期計画の柱の一つである、若者のボランティア人材の育成のための取り組みとして、「高校生ともしびボランティアアワード」を実施しました。高校生がボランティア活動を通して、心豊かに成長し、次代の担い手となることを目的としています。

初年度として兵庫県教育委員会と兵庫県私立中学高等学校連合会のご後援を得、神戸市校長会でのご案内や各高校へダイレクトメールを出すなどの広報活動を行った結果、県内24校から申請がありました。選考会を経て、18校の顕彰を決定し、顕彰状と副賞として3万円を贈りました。また、3月25日には、顕彰を受けた高校生の報告交流会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの流行のため中止しました。

(2) 須磨区社協、コープこうべと合同で交流会を実施

2月5日(水)、神戸市須磨区役所内多目的ホールで、同区内で活動する須磨区社協とコープこうべ第3地区本部の登録ボランティアグループ、ともしび財団の助成グループの代表63人が交流しました。これは、同じ地域で活動するボランティア同士が知り合い、連携するきっかけになればと3団体が合同で企画したものです。

当日は、ファシリテーターの松尾やよいさんの楽しい進行のもと、お互いの活動内容や目指すものについて交流しました。名刺やアドレス交換をする人や、今後の活動の連携について早くも約束ができるなど、有意義な時間になりました。

(3) 研修事業を実施・助成

ボランティア活動のすそ野を広げたり、レベルアップのために地域で企画された研修事業に対して助成を行いました。コープこうべ地区本部などが、傾聴や、対人援助、認知症予防講座などを開催しました。参加者が、新たにグループを立ち上げるなどの動きにつながっています。

当財団主催で実施した研修も含め、11講座に351人が参加しました。

II. 地域に当財団の理解者、支援者を拡大

1. 「やさしさにありがとう ひょうごプロジェクト」コラボイベント開催

2019年度は賛同企業の1つであるUCC上島珈琲(株)と9月25日に、フジッコ(株)とは2020年2月1日にコラボイベントを行いました。

地域の居場所などでコーヒーを提供するグループも多いことから、UCCとは、コーヒーの歴史や、おいしい入れ方を学ぶセミナーを行い、28名が参加しました。

フジッコとは節分にちなんだ豆や日本型食生活の学習を行い、27名の親子が参加しました。これらのイベントは、賛同企業の専門分野を生かし地域のくらしの向上に貢献するとともに、これまで財団のことを知らなかった人々に財団のことを知ってもらおう貴重なきっかけになっています。

2. 助成グループの活動を積極的に広報し、共感を広げる

(1) 地域のまつりで助成グループの活動を紹介

地域に支援者を広げていくためには、助成金がどんなグループや活動に活用されているかについて広報することが最も有効なのではないかと考え、2019年度も助成グループの広報に力を入れました。

10月26日(土)にコープこうべ生活文化センターで「秋祭り住吉ファミリー」(来場者3000人)が開催され、当財団もブース出展で参加しました。その際に、「神戸・灘おもちゃの病院」も財団の助成グループとして一緒にブースに参加いただきました。

地域に配布された秋祭りの案内チラシに、こわれたおもちゃをおもちゃドクターが治療して返却することを掲載したところ、当日は子どもたちがお気に入りのおもちゃを抱えて来場。治療の様子を親子で興味深く見守っていました。財団も、古本やハガキ、切手を持参して寄付に協力した人が参加できるゲームを企画し、参加者の行列が絶えず、賑わいました。

(2) ホームページで助成グループの情報を掲載

申請書の中にホームページ公開用のページを含めたことにより、きらり助成を除く全てのグループの情報を助成金交付後、間をおかずにホームページにアップできるようになりました。活動内容が写真付きでわかるためか、最近、幼稚園、他団体、マスコミなどから、「出演依頼をしたい」「取材したい」などの問い合わせが増えています。

(3) ツムギスト(広報ボランティア)の活動継続

1昨年度来好評の、ツムギスト養成講座をコープこうべの人材開発と連携して行いました。ツムギストは助成グループを実際に訪問して、地域や参加者がどう変化したかなどについて話を聞き、”物語“を紡ぐ広報ボランティアです。当財団の評議員で、神戸新聞の元論説委員長の桜間裕章氏を講師にお迎えし、取材の仕方や記事の書き方について体験し、学び合いました。

助成グループからの参加希望があったため、今年度もコープ職員だけでなく、助成グループのメンバーにも参加いただきました。

Ⅲ. 財団の基盤の安定をめざし、資金調達と事務局機能の強化を図る

1. 資金調達の強化

(1) 賛助会費・寄付・募金について

2019年度の実績は、賛助会費・寄付・募金の総合計16,762,405円でした。

(2) 古本募金「きしゃぼん」などの取り組み

2016年の7月から新たに取り組み始めた「古本募金 きしゃぼん」は2019年度末で、87万5191円の募金になりました。

さらにコロナによる活動自粛などで本棚の整理をする人が増えたこともあり、「きしゃぼん」への寄付が大幅に増えています。昨年度の3月と比較すると、件数で1.4倍、金額では1.7倍に増えています。

また、今年度は初めて、「古切手、書き損じハガキ回収キャンペーン」を実施しました。

(3) 夕食サポート事業との連携

高齢者世帯を中心に毎日夕食のお弁当を届けるコープこうべの夕食サポート事業「まいくる」では、兵庫県内での利用1食あたり0.5円を当財団に寄付いただいています。

(4) 基本財産運用

2. 財団の基盤、人材育成の強化

(1) 財団の第3次中期計画冊子の活用

昨年度末に2019年度から5年間の財団の指針として「第3次中期計画」を策定しました。今年度は、この計画を冊子化し、兵庫県社協、神戸市社協、コープこうべなどに配布しました。

(2) 財団スタッフのスキルアップ

(3) コープこうべと連携した広報や人材育成の連携強化

① コープこうべの事業媒体に掲載

2019年度も、コープこうべの関連部署による広報活動に取り上げられました。

- ・『めーむ』 欄外情報（タブロイド・カラー）1月4週号 47万部発行
- ・コープこうべの夕食サポート「まいくる」の紹介パンフレット

② 財団の研修やセミナーなどへのコープこうべ職員の参加促進

③ 財団の活動紹介DVDの作成

財団紹介用のDVDの作成に取り組みました。短いバージョンを5月の市民活動交流会で上映し、助成グループを取材して撮影した動画を含めたロングバージョンを活用し、申請説明会の9会場で上映しました。